

事業所名： グループホームわかくさ

作成日： 令和 4年 1月31日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	法人として、身体拘束委員会を開催している。マニュアルや行政資料に加えて、職員それぞれの意見や日頃のケア方法等について話し合った内容を議事録として残すことで、更により良いケアに繋がられることを期待したい。	身体拘束委員会のZOOMでの開催。直接職員同士が意見交換できる環境を作る。また今後のケアのため意見を書面で残すようにする。	コロナ禍のため、集結した会議が出来ない為、ZOOMでの4人程度(代表・居宅・ディ・グループホーム各1名)での会議を3ヶ月に1度、全体会議を年1回行う。会議の意見については書記役を作り、しっかり書面を残せるようにする。	12 か月
2	35 (13)	災害時において、地域住民の協力を得られることが難しい状況である。新型コロナ収束後には、地域連携をさらに深められるよう、地元の避難訓練等に積極的に参加し、地域密着型の事業所として、存在をアピールする工夫に期待したい。	地域行事を把握。地区の行事に参加し、地元の方と接する機会を作る。	災害・緊急時など地域の協力を得られるように地区の防災訓練や溝掃除などに参加、近所の方と職員が顔なじみになれるようにする。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。